

ニカラグア定期報告（2022年8月）

【要旨】

内政面では、オルテガ政権がカトリック教会への圧力を強める動きを見せ、これについて国内外から非難の声が上がった。また、11月6日に実施される地方選挙が公示された。外交面では、13ヶ月間不在となっていた中米統合機構（SICA）事務局長に、ニカラグアから推薦されたウェルナー・バルガス候補が選出された。

【主な出来事】

1 内政

（1）カトリック教会等への圧力強化及びその反応

ア カトリック系メディア等の運営停止及び機材の接收

（ア）1日、オルテガ政権は、マタガルパ県にある6つのカトリック系ラジオ局、及び独立系ローカルテレビ局を、2003年1月30日以降、有効なライセンスを取得していないとして運営の停止を命じた。

（イ）同日、国家警察は、同県セバコ市にあるニーニョ・ヘスス・デ・プラガ礼拝堂および併設されているテレビ・ラジオ局に突入し、放送関連機材を接收し、関係者12名を逮捕した。

（ウ）2日、同政権は、同県にあるフェミニスト系ラジオ局「ラディオ・ボス」の運営停止を命じた。

イ ロランド・アルバレス司教らを拘束

（ア）3日、マタガルパ県教区のロランド・アルバレス司教は、マタガルパ市大聖堂において教徒と共にミサを行おうとしたところ、警察の特殊作戦部隊に阻止され、同司教を含む教会関係者らはそのまま軟禁状態下に置かれた。

（イ）19日、国家警察は、暴力的なグループを組織し、国民に対する憎しみを煽る行為を行ったとして、アルバレス司教を含む教会関係者9名を拘束し、マナグア市へ連行した。同司教はマナグア市内で軟禁状態下に置かれ、残り8名は市内刑務所に移送された。

ウ 各方面からの反応

（ア）12日、米州機構（OAS）は常設理事会特別会合を開催し、オルテガ政権によるカトリック教会への対応を含む弾圧行為について、政治犯の即時解放、独立メディアの嫌がらせや脅迫の停止、表現の自由の権利保障等を求める内容の決議を採択した。

（イ）17日、スペイン語圏の元大統領及等で組織されるスペイン・米州の民主主義イニシアティブ（IDEA）は、オルテガ政権によるカトリック教会への弾圧行為に対して懸念と拒絶を表明する声明を発出した。

(ウ) 21日、フランシスコ・ローマ教皇は、ニカラグアの状況を懸念し胸を痛めながら見守っている、誠実で開かれた対話を通して、平和で尊厳ある共存のための基盤を見いだすことができるという私の確信と希望を表明したい旨の短いメッセージを発出した。

(2) NGO団体の法人格取消権限を内務省に付与

11日、ニカラグア国会は、NGOの法人格取消を国会の承認を得ずに内務省の権限で行うことや、非営利の業界団体の管轄を勸業・産業・通商省(MIFIC)から内務省に移すことができること等を内容とする法改正案を承認した。なお、同日時点で、本年中に法人格を取り消されたNGOは合計で1406団体となっている。

(3) 11月6日の地方選挙公示

16日、最高選挙管理委員会(CSE)は、本年11月6日に実施される地方選挙の公示を行った。本選挙において、ニカラグア国内153市の市長、副市長、市議会議員およびその代理人を選出する。

また、CSEは、選挙に参加する政党および政党連合に対し、立候補者を女性と男性の候補者を50%ずつにすることや、外国エージェント規制法、平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法等の各法に従い、ニカラグア共和国憲法を遵守することを要請した。

(4) 「ラ・プレンサ」社屋の接收

23日、オルテガ政権は、1年以上に亘って国家警察の管理下に置かれていた反政府系主要メディアであり、当地で最も長い歴史を有する「ラ・プレンサ」社の社屋を接收した。この跡地には、国家技術庁(INATEC)が管轄する「ホセ・コロネル・ウルテチョ文化・理工学センター」が設立された。

(5) 原子力開発委員会を設立

29日、オルテガ政権は、大統領令を発出し、平和目的の原子力開発のための委員会の設立を発表した。これにより、農業、医療、科学、技術、モニタリング及び関連分野における原子力施設、微粒子加速装置、中性子発生装置、その他の電離放射線源の設計及び建設が行われることになる。

(6) 8月30日までの当国における新型コロナウイルスを巡る情勢は以下のとおり。

ア 保健省(MINSA)レポート

8月30日、MINSAは同日時点の国内感染状況について23日から30日までの週間レポートを発表したところ、概要以下のとおり(括弧内は前回数値)。

・新規感染者数：44名(47名)

- ・累計感染者数：14,960名（14,931名）
- ・新規死亡者数：0名（0名）
- ・累計死亡者数：248名
- ・累計治癒者数：14,671名（14,639名）

イ ワクチン接種状況

19日、ムリージョ副大統領は、2歳以上のワクチン接種率について、1回接種が94.5%、2回接種が89%、3回以上接種が37.15%に達したと発表した。

2 外交

（1）中米統合機構（SICA）事務局長の選出

11日、SICA加盟国代表が参加する会議において、13ヶ月間不在となっていたSICA事務局長に、ニカラグアから推薦されたウェルナー・バルガス候補が選出された。同候補の任期は2026年までとなる。

（2）米国政府及び議員によるニカラグア政府批判

ア 25日、カリーヌ・ジャン・ピエール米ホワイトハウス報道官は、記者会見の中で、今次のカトリック教会司教の拘束などを含むニカラグア政府による人権侵害行為を非難した。また、「バイデン大統領・ハリス副大統領の政権は、このような行為は容認できるものではなく、非難する。」と述べた。

イ 25日、米国下院外交委員会のアルビオ・シレス議員（民主党）、マーク・グリーン議員、マイケル・マックアル議員（共に共和党）は、オルテガ政権によるカトリック教会への弾圧行為を非難する声明を発出し、バイデン政権に対して、全ての政治犯を解放し、ニカラグアの人権を守るために Renacer 法の速やかかつ厳格な適用を含めたあらゆるツールを活用することを要求した。

（3）中国関連

ア 8日、中国政府は、保健省に対して、インキュベーター、モニター、人工呼吸器、細動除去器（AED）など26の医療機器を供与した。

イ 25日、ニカラグア政府は、中国政府とバーチャル会談を実施し、レオン市の特別支援教育センター再建に関する協力協定に署名した。

ウ 29日、ニカラグア政府は、中国政府との住居建設プログラムに関する確認書に署名した。これにより、国内153市中84市に12,034戸の住宅が中国主導で建設される。

3 経済

（1）産業向け融資プログラム「アデランテ」

17日、イバン・アコスタ財務・公債大臣は、農業、漁業、水産養殖業、林業、農産加工業、製造業、飲食業、ホテル業、商業、運送業を対象とした、278ドルから1668.5ドルの小口融資を受けることができる、7,570万米ドル規模の産業融資プログラム「アデランテ」を始動すると発表した。

(2) 主要必需品価格の上昇

22日、開発情報庁（INIDE）は、一般家庭の生活必需品計53品目の合計（Canasta Básica）が17,843コルドバ（約67,721円）に達したと発表した。これは1ヶ月間で362コルドバ（約1,373円）、6ヶ月間で1,578コルドバ（約5,989円）上昇したことになる。

(3) 雇用統計

23日、開発情報庁（INIDE）は、2022年第二四半期のニカラグア国内における雇用統計を以下のとおり発表した。

- ・総雇用率：昨年同月比1.2%増の64.3%
- ・完全失業率：昨年同月比2.0%減の3.1%
- ・非正規労働者：昨年同月比6.5%減の35.5%
- ・業種別割合：農業・漁業26.1%、商業22.7%、地域・社会・個人向けサービス19.3%、製造業12.2%、その他（ホテル・レストラン・運輸・通信・金融・鉱業・電気・ガス・水道）19.7%

(4) 国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）の経済見通し

23日、CEPALは、2022年当初、ニカラグア経済見通しを3.0%と予測したものの、同年6月に2.5%に引き下げたが、今回の見直しで同見通しを再び3.0%に引き上げると発表した。また、その一方で雇用や賃金の指標に大きな伸びは見込めず、経済成長との大きな乖離を生むだろうと発表した。

(5) 米国系航空会社の運行再開

ア 19日、アメリカン航空は、2020年3月以来運休していたマイアミ・マナグア間の運航を本年11月30日から再開する旨発表した。

イ 26日、スピリット航空も上記区間の運航をアメリカン航空と同日より再開する旨発表した。

(6) 5つの主要財務状況

26日、財務・公債省及びニカラグア中央銀行（BCN）は、国内5つの主要財務状況について以下のとおり発表した。

- ア 政府預金：昨年同月比32.99%増の429億7,290万コルドバ（約11億9899万米ドル）
- イ 外貨準備金：昨年同月比19.13%増の43億3429万コルドバ（約1億2093万米ドル）
- ウ 税収：前同期間比（2021年1～6月）20.61%増の582億930万コルドバ（約16億2410万米ドル）
- エ 歳出および融資：
- （ア）海外からの無償資金協力：予想18億8,370万コルドバ（5,255万米ドル）の33%である6億2,160万コルドバ（1,734万米ドル）
- （イ）海外からの融資：昨年同月比11.18%増の92億4,390万コルドバ（2億5,791万米ドル）
- （ウ）海外への返済：昨年同月比13.56%減の154億3,490万コルドバ（4億3,065万米ドル）
- オ 国債発行：年間予算の157.4%に当たる56億4,630万コルドバ（1億5,753万米ドル）

<主要経済指標>

	2020年 6月	2021年 6月	2022年		
			5月	6月	7月
インフレ率（対前年同月）	1.43%	2.60%	4.73%	5.26%	6.66%
貿易収支（百万ドル）	▲136.1	▲205.1	▲190.4	▲315.7	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	316.5	218.9	396.5	365.6	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	354.3	521.6	586.9	681.3	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	154.7	171.9	266.0	263.7	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	3,211.9	3,611.8	4,354.3	4,348.4	4,334.3

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））